

授業科目名 (英文名)	地域プロジェクト演習地域プロジェクト演習	科目区分 対象学生	
単位数	2.0	開講年次・ 学期	
担当教員	内平 隆之	所属	
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	<p>【講義目的】 地域課題の解決を担う地域創生人材となるための基礎的な態度と知識、技能を習得する。</p> <p>【到達目標】 1．受講者がチームを結成し、対象地域の課題解決に資するプロジェクトを実践する。 2．地域創生人材として必要となる資質・能力項目のうち、特に「企画構想力」「プロジェクト推進力」および「専門活用力」の基礎を習得する。</p>		
講義内容・授業計画	<p>【講義内容】 対象となる地域でフィールドワークを実施し、課題解決に繋がる地域プロジェクトを企画・実践する。 平成31年度の地域プロジェクト実践論は、西脇市をフィールド先として実施する（主担当：杉山武志（環境人間学部））。 集中講義であるため、授業日の詳細は別途案内する。</p> <p>履修者は下記の領域に分かれ、地域プロジェクトを実施する。</p> <p>ビジネス領域 担当教員：西井進剛（経営研究科）、 越知昌賜（地域創造機構、元流通・金融系企業職員）</p> <p>ケア領域 担当教員：牛尾裕子（看護学部、元保健師）、竜聖人（地域創造機構）</p> <p>デザイン領域 担当教員：杉山武志（環境人間学部、元商工会議所職員）、前田千春（地域創造機構）</p> <p>【授業計画】 1～2：ガイダンス ガイダンス、地域プロジェクト実践論の振り返り、基礎知識・技術についての講義・演習を行う。 3～7：調査・企画 前期の地域プロジェクト実践論で行ったプロジェクトの成果と課題を踏まえ、各チームがメンバーの専門性を生かしながら、コミュニティにとってより効果的なプロジェクトの「企画」を構想・設計する。 8～13：実践 チームメンバーとともに、コミュニティの関係者とも協議を重ねて、コミュニティに実質的に寄与するようなプロジェクトを実践する。予期しないことが生じた場合には臨機応変に企画を修正し、課題解決にむけてプロジェクトを推進する。 14～15：発表・振り返り ステークホルダーを交えた発表会を行い、プロジェクトの成果とプロセスについて振り返る。</p>		
テキスト	適宜指示する。		
参考文献	随時、提示する。		
成績評価の基準・方法	<p>【成績評価の基準】 地域課題の解決に資するプロジェクトを実践できた者に単位を授与する。 講義の到達目標に記載する能力（1．企画構想力、2．プロジェクト推進力、3．専門活用力）の到達度に応じてSからCまで成績を与える。</p>		

	<p>【成績評価の方法】 ポートフォリオ（60％）と最終成果物（40％）で評価する。</p>
履修上の注意・履修要件	<p>履修にあたっては、「地域プロジェクト実践論」の単位修得済みを要件とする。 副専攻・地域創生人材教育プログラム（RREP）履修者は本科目が必修となるため注意すること。 フィールドワーク時に交通費（自己負担）が発生する場合がある。</p>
実践的教育	<p>本講義は、元商工会議所職員、元保健師、元流通・金融系企業職員として、地域プロジェクトを実践し地域課題解決に関わった実務経験を持つ教員から、地域プロジェクトについての指導を受ける。また、フィールド先で地域課題解決に携わる実務家から直接助言をうける機会を設け、地域プロジェクトについて実践的に論究する。以上のことから、実践的教育に該当する。</p>
備考	<p>この講義は、兵庫県立大学副専攻「地域創生人材教育プログラム（RREP）」および宮城大学と連携した「コミュニティ・プランナー育成プログラム」の一環である。</p>